

度 月 生涯研修講座
7 生

酸蝕症の診断と対応 ～罹患者26・1%の衝撃～

楠雅博 (兵庫県淡路市開業)

現代歯学の父G・V・Blackは1908年に『酸上前の1908年に『酸蝕症はう蝕に比べ稀ではあるが、臨床家がそれを一度認識すると、多くの患者に酸蝕症を見つづけることになるだろう』と述べている。これは驚くべきことだ。当時の酸蝕症罹患者は定かではないが、北迫らによると、我が国における成人の酸蝕症罹患者は26・1%に及ぶとされている。4人に1人は酸蝕症ということだ。しかし、未だに「酸蝕症患者は、見たことがありません」と聞くとある。そして私の講演

を聞いた人たちの多くは、Blackの言葉通り、次の日から酸蝕症患者と出会うことになるようだ。酸蝕症は咬耗、摩耗、アフラクシオンとともに、う蝕、歯周病に次ぐ第3の歯科疾患と呼ばれるTooth wearに分類される。Tooth wearはMIの概念の普及、う蝕の減少、高齢者の残存歯数及び高齢者人口の増加により、損耗を受ける非修復歯面が増加し、臨床上見過ごすことのできない疾患となっている。単独の原因で生じることは少なく、

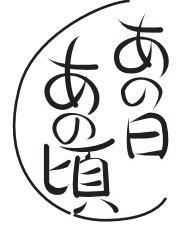
つ、過食症など摂食障害による自発的嘔吐は、口腔内所見が特徴的であるため、見落とすことはまず考えられないが、その対応は非常に難しく、適切な医療機関との連携が必須である。外因性因子のほとんどは、酸性食物の過剰摂取によるものだが、原因が過去にあることもあり、問診で探り出すのは困難を極める。今回、このような酸蝕症について詳しく解説し、その診断と対応についても述べたい。また話題になった、食後30分以内のブラッシングを避けることの是非についても触れる。

日時 7月24日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
会費 会員3千円、未入会者1万円
お申込 歯科協会事務局(06-6568-7731)

私とスポーツ

佐牟田 毅 (平野区)

リリース
309



私は、スポーツをするのも観るのも大好きだ。幼い時より、外に出て走りまわるのが大好きで、じつと家で本を読んだり、勉強したり、プラモデルを作ったりするのは、幼い頃は、兄と一緒に発し、下手ながら、心の

ので、兄について出て、兄の友人達と一緒にソフトボールをさせてもらっていた。いつもいかに家から出て外で走りまわるか、だけを考えていた。小中高は、勉学を優先したため、部活で汗を流すことは出来なかった。大学に入学してから、ハード野球部に入部した。今まで抑圧されてきたスポーツへの思いが爆発し、下手ながら、心の

甲子園で野球を続けてきたのである。今でも野球熱は冷めず、その気持ちは持続している。そして、野球熱は、スポーツ熱となり、ソフトボール、テニスとスポーツ生活を満喫して



藤田 進 (河内長野市)

よい。テニスは、去年の秋から一番下のレベルで試合に参加し始めた。最初は、ラリーも続かず一方的にやられる試合ばかりで、ブルーになっていった。しかし、ある大会で0-6、0-6、0-6と3試合ともストレートで負けたが、開き直って笑顔でプレーしていたら、あるグリップの方にベストスマイル賞ですと言われた。この出来事から、テニスは、楽しむもの”ということを学び、今では勝つことも負けても楽しめるようになったのである。最近では、まだ一番下のレベルでこそあるが、少しずつ勝てるようになってきて、より楽しさがかかってきた。まだまだ伸びしろが大きいことを信じてテニス、ソフトボール、仕事、人格の向上に励もうと思っ今日この頃である。

佐牟田先生ありがとうございます。次回夏季特集号(8月15日付)は、平野区で開業されている水井雅則先生です。

組織部 第2回手話教室開催



手話を体験する参加者
5月28日、保険医会館

組織部は5月28日、保険医会館で第2回手話教室を開催、12人が参加した。体験型の講習として人気を集めている。第3回は、7月23日を予定。3回目からの参加も可能。

2016夏季特集号 投稿・写真を募集

新聞部は、夏季特集号(8月15日付)への会員投稿(原稿・写真)を募集している。原稿は、600字以内で、テーマは①趣味②日常の臨床③家族や生活のこと④夏の思い出⑤エッセイ・川柳・俳句⑥旅行記——など。顔写真を同封して応募する。写真は、夏の風景や人物写真など。応募は、郵便、ファクス、メールで協会事務局まで。掲載者には薄謝進呈。

【送付先】
(郵便) 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-33
(ファクス) 06-6568-7731
(メール) akira_kn@doc-net.or.jp



保険治療の限界!? / 週刊文春
『週刊文春』5月26日号では、「銀歯の寿命は8年! 海外では高額だけどセラミックが常識」と題して、保険適用の銀歯治療とそのリスクについて特集している。

口腔リハビリに焦点 / 文藝春秋
『文藝春秋』5月号では、「口腔リハビリで生命力が蘇る」と題し、リハビリによって口腔機能が回復したことから、病状が改善した事例を紹介。口腔機能の重要性について報じている。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731
ファクス 06-6568-0564

シリーズ雇用管理対策講習会①
スタッフ雇用の基礎知識—新規採用時のポイント

日時 6月18日(土) 午後6時～8時
会場 保険医会館5階 定員 50人
講師 桂好志郎氏(協会顧問社会保険労務士)
会費 会員・家族3千円、未入会者1万円

北大阪地区講習会
診療で遭遇する口腔外科症例 / 判断に迷った

日時 7月9日(土) 午後6時30分～8時30分
会場 千里ライフサイエンスセンタービル7階701号室(千里中央) 駅北出口からすぐ
講師 山本直典氏(済生会千里病院歯科口腔外科副部長)
会費 会員無料 定員 50人

歯科手話教室(基礎編) Part 3

日時 7月23日(土) 午後2時30分～5時
会場 保険医会館5階 定員 30人
講師 東尾建氏(歯科技工士)
会費 会員・スタッフ無料、未入会者1万円
内容 基礎的な手話、初歩的な歯科医療会話練習の3回目

シリーズ雇用管理対策講習会②
給与計算完全ガイド—正しい給与計算を社労士が解説

日時 7月23日(土) 午後6時～8時
会場 保険医会館5階 定員 50人
講師 桂好志郎氏(協会顧問社会保険労務士)
会費 会員・家族3千円、未入会者1万円

「シャープニングセミナー」よりよいスケールングのために

日時 7月31日(日) 午前9時30分～12時30分
会場 保険医会館5階
定員 15人(先着順) ※1院所2人まで
講師 歯科臨床・学術部講師団
会費 会員院所歯科衛生士5千円
※申込者には、正式申込書を後日FAXします

大阪市東部・北部地区講習会
歯科金属アレルギーの診断と治療

日時 7月31日(日) 午前10時～午後1時
会場 M&Dホール 定員 100人
講師 高永和氏(生野区開業) 会費 会員無料

未入会者とは、会員院所に勤める未入会勤務医です。協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。